

長期計画策定会議及び小委員会における主な意見

21.6.30

(施策の大綱)

策定会議における主な意見	
施策1	
1	・ボランティア数だけでなく、区民が参加できる委員会設置などに関する指標も加えてはどうか。
2	・公園面積や街路樹などの量の増加を目指す指標だけでなく、既存の公園や道路の並木のきれいさなど、質の充実度を測定できる指標もほしい。
3	・成果指標の中に緑の連続性を示す指標がない。例えば、現在、連続していない部分がつながると区内の南北すべてがつながるといったストーリー性があってもよいのではないか。 ・風の道に対応するサブ施策や成果指標が設定されていない。
4	・ネットワークや連続性については数値指標ではなく、定性的に評価する方法を検討する必要がある。また、同じ指標が再掲される可能性についても検討する必要がある。
施策2	
5	・施策2、サブ施策 芝生化の推進とあるが、維持管理が必要となるため指標の設定に当たっては、計画の段階から維持管理のあり方などについて、区民の参加が必要であることに配慮していただきたい。
施策3	
6	・指標の環境に配慮した行動に取り組む区民の割合について、事業所も対象としてはどうか。
7	・環境に取り組む団体数・人数といった指標を増やすと良いのではないか。こうした分野では地域住民の自主的な取り組みに委ねないと浸透していかない。
施策3・4	
8	・「区民と事業者と区が協働して」との表現が多いが、施策3、4の指標で事業者の状況をどこまで把握できるのか。事業者については、建物の再利用率に加え、環境にやさしい製品を作る事業所数やリサイクルに取り組む事業所数などの指標があってもよいのではないか。

施策4	
9	・区民アンケートの設問について、「心がけている」とあるが、認識と行動の間に差があるのではないか。
施策5	
10	・焼却炉や上下水道などで普及している小型発電、特に清掃工場の焼却炉の発電についても江東区としての取り組み姿勢を明確に示してはどうか。
11	・日本は世界に向けてCO ₂ に関する数値を発信している。事業者が持っている緑化面積なども把握できれば、江東区におけるCO ₂ の排出量と吸収量を把握できるのではないか。

小委員会における主な意見	
1	・現状と課題や、サブ施策の目的・取り組みの文章などを、区民にとって分かりやすくするといい。

(施策の大綱)

策定会議における主な意見	
施策6	
1	・指標の一時保育の利用件数は、受け入れられる人数としてはどうか。 ・サブ施策の にか に、グループ保育室や家庭保育員の取り組みを含めてはどうか。
2	・サブ施策 の保育サービスについて、延長保育や病後児保育に関する指標を設定していただきたい。
3	・母親が子どもを預けるのではなく、職場でこどもの面倒を見るという発想はどうか。保育サービスに、大学生を活用してはどうか。
4	・計画目標は平成26年であるが、長期的にはこどもの人口も落ちつき、全員が保育所に入ることが可能になるのではないかと。したがって、待機児童はゼロを目標値として良いのではないかと。
施策7	
5	・サブ施策 のさまざまなメディアを活用したメディアの発信について、メディアの利用状況について、登録数やアクセス数などを指標としてはどうか。
6	・サブ施策 のさまざまなメディアによる子育て情報発信について、江東ケーブルテレビを含めてはどうか。現在、小学校訪問という番組が好評であり、児童も保護者も視聴しているようである。
施策8	
7	・教員に要求するだけにならないように指標の設定に工夫する必要がある。学校教育ではプロセスが重要であり、アウトカムだけではなく教育環境がどの程度整備されたかなどのアウトプット指標を設定することも考えられる。
8	・指標 の体力診断テストの数値化は良いアイデアであり、学力についても賛否両論はあるだろうが、学力の内容を理解する児童の割合といったあいまいな指標ではなく、より具体的な指標としてはどうか。
9	・指標 のよくわかる授業が行われていると感じる保護者の割合や、施策9の指標 の一人一人を大切に教育が行われていると感じる保護者の割合などは、いずれも児童の割合としてはどうか。

10	・授業に対する学生からの評価を上げるためには、極論すれば成績に対する評価を甘くすれば良く、教員の間で評価の高い授業は、学生からの評価が必ずしも高くない。
11	・サブ施策 について、障害者・高齢者の体験学習や交流学习も含めてはどうか。
施策9	
12	・指標 の不登校児童について、在宅学習や学校以外のところに通っているこどもは不登校の数から外したりするなど、学校に無理やり行くことにならないようにしてはどうか。
施策10	
13	・サブ施策 について、学校の支援を行いたいということを未来会議で検討したが、学校評議員会だけでなく、学校支援地域本部事業などについても盛り込んでどうか。 ・学校の教員に教育以外の負担が大きくなっており、教育以外の事務負担が減ったと感じている教員の割合などを指標としてはどうか。
施策11	
14	・サブ施策の虐待防止と早期発見について、もう一步踏み込み、虐待のあった家族の再統合支援や地域での見守り体制についても盛り込んでどうか。 ・指標の虐待の通告義務について、一般の区民がどこまで知っているかというよりも、区の窓口を知っているなど啓発に関する指標が望ましい。
施策12	
15	・放課後対策について、学童クラブの待機児童の状況を指標に加えてはどうか。 ・居場所づくりについて、民間のプレイパークなど民間の取り組みを区の放課後居場所作りの取り組みに加えてもよいのではないか。
施策13	
16	・江戸川区などでは中高生の溜まり場事業が行われており、江東区でもそうした取り組みを考えるべきではないか。

小委員会における主な意見	
1	大綱 は、未来会議提言書に沿って、保育・子育て関係、学校教育関係、地域による子育て・教育等の支援という章立てにしているが、まだ未整備の箇所がある。
2	現状と課題や、サブ施策の目的・取り組みの文章などを、区民にとって分かりやすくするとい

(施策の大綱)

施策14	
1	・事業継承、創業支援に伴う指標としては、「事業所数」よりも、例えば「事業継承した事業所数」「創業した事業所数」のほうがよい。
2	・指標「事業所数」は、多様な業種間の連携の面から業種別の事業所数として提示できるとよい。
3	・観光振興や学校教育とマッチングして中小企業を盛り立てていくような施策をとりあげたらどうか。
4	・製造業中心の従来型の産業構造を念頭にした産業施策だけでなく、東雲地区のような職住近接型の新たなまちづくりや、新しいライフスタイル、働き場所、商店街のあり方も江東区は支援しているというニュアンスを計画書のどこかで表現してほしい。
施策15	
5	・商店が投資をして業態を変えるなど思い切ったことをしないと魅力ある商店街にはならない。
6	・指標「来街者が増加していると思う商店街の割合」は、誰がそう思うのか主語が明確になるよう表現を工夫してほしい。
7	・商店街の機能として「歩ける、座れる、夜遅い」が大事。特に、既存の商店街は「座れる」「トイレがない」という問題があるので、取組みの欄に少し盛り込めるとよい。
施策16	
8	・「現状と課題」の中で「食品偽装事件」の表現が浮いている。記載するのであればこれに対応する手だてが必要になるので表現を考えたほうがよい。
9	・「クーリングオフ制度を知っている区民の割合」は成果を測る指標として幅が狭いので、もう少し消費者問題を幅広く捉えた指標の方がよい。
10	・指標に「消費者問題に関して啓発を働きかけた世帯数」を含めて、区として取り組んでいることがわかるようにしたらどうか。
11	・消費者問題に関する相談件数で指標を表す方法もあると思う
施策17	
12	・サブ施策 で情報発信やコーディネーターを設置するのはよい。その上で情報の発信やコーディネーターが活用されているという指標が入るとよい。
13	・町会・自治会への参加率が落ちているのは必ずしも問題なく、代わってNPO数などが増加していることのほうが重要なので、こちらを前面に出した方がよい。 ・ただし、従来からのネットワークをどうよい方向にもっていくべきかという問題はあり、対応は必要だと思う。指標の順番は変えたほうがよい。
14	・町会・自治会について、若い世代は意味のないことに参加したくないと思いがちなので、区から、町会・自治会の必要性やその役割をある程度知らしめるための情報発信、広報活動があつてよいのではないか。

15	<p>、 の指標は重複感がある。また、 は施設の利用率がよいのか、利用回数が高いのか利用人数がよいのか。 も同様の検討が必要である。指標について一覧にした上でどのような単位で指標とするのかという考えを整理したほうがよい。</p>
<p>施策18</p>	
16	<p>・生涯学習を還元していくというのはよいが、マッチングの部分で登録制度が活用できると思った。</p>
17	<p>・図書館利用に関する指標は延べ来館者数などがいいが、センサーをつけるとお金がかかるので、何か方法を考えたほうがよい。</p>
<p>施策19</p>	
18	<p>・施策19のDVについて現在は相談事業となっているが、啓発が大事だと思うので、啓発活動を加えたほうがよい。また、指標についても「DV相談件数」となっているが、啓発を進めると相談件数は増えるので相談件数も大事だが、解決割合などにしたほうがよい。 ・仕事と家庭の両立については、「子育て支援をしている事業所数」も指標としてよいのではないかと。</p>
19	<p>・施策19の指標「男女が平等だと思う区民の割合」をアンケートで把握する際、「平等だと思いますか」と聞くか「平等な社会になっていますか」と聞くかによって結果が大きく異なる。意識と現実のギャップが大きいので、アンケートの質問の仕方が大事。</p>
20	<p>・施策19の仕事と生活の両立は、一番の問題は子育てをどうするかである。本来は男性も関わらなければならないがなかなかできていない。新規に実施するアンケートなので、質問方法を重視してほしい。男性が単に早く帰るだけでなく、どう効果的に子育てに参加できているのが大事。</p>
21	<p>・男女共同参画に向けて、女性が会社で働くのはまだまだコピーとお茶出しで、資格を取得するしか女性としての働き方がないと思っている人が多い。女性のキャリア教育の必要性についても施策として盛り込めるとよい。</p>
22	<p>・男女共同参画に関する指標は「男女平等が進んでいるか」といった形で把握するのがよいのではないかと。「実現しているか」と聞かれれば0になってしまう。</p>
<p>施策20</p>	
23	<p>・過去に依拠するのではなく、将来のための伝統文化をつくるという視点が大事である。現案はオーソドックスな観光論だけになっている。モダンアートを木場や古い商店街などに出していく方向性があるといい。最先端の前衛アートへの理解と支援の仕組みについても触れておいたほうがよい。</p>
24	<p>・新しい文化をつくる上で南北地域間での伝統を継承することも必要。</p>
<p>施策21</p>	
25	<p>・指標で「江東区内の主要な観光・文化施設への来場者数」となっているが、外国人は神楽坂、月島、路地の生け垣などまちなみや文化に関心をもっている。施設にとらわれない観光振興の考え方を取り入れたほうがよい。</p>
26	<p>・観光振興の情報発信については、区民がそう思っていないと意味がないので、外だけでなく中の区民を見ていく必要がある</p>
27	<p>・サブ施策 で交番のようにまちなかにあるビジターセンターを整備できると非常に助かる。</p>

(施策の大綱)

施策 2 2	
1	・健康に関しては、休養に関する指標も必要である。
2	・ある年代を過ぎると運動習慣があるかどうかによって老化の進行が異なる。老化対策としての定期的な運動が必要。
施策 2 3	
3	・指標の「結核罹患率」とあるが、他にも性感染症、エイズの罹患率についても啓発の意味を込めて盛り込んではどうか。
施策 2 4	
4	・安易に大病院で診察してもらう人が大勢いるとパンクしてしまうので、かかりつけ医の充実が重要である。
5	・かかりつけ医だけでなく、助産師の活用もなされるとよい。
6	・江東区は若年層も増えているので、少子化対策も含めて支援策があってもよい。
施策 2 5	
7	・施設介護の指標は に対応しているので、在宅サービスのマンパワーの充足度を示す指標もあるとバランスがとれると思う。
施策 2 6	
8	・サブ施策 については、社会福祉協議会のふれあいボランティアというサービスが老人家庭の訪問も担っているので、取組例として入れても良いと思う。
9	・サブ施策 「地域ネットワークの整備」について、もう少し施策を具体的に書き込めるといいのではないか。
施策 2 7	
10	・サブ施策 は評価できる。 ・老人ホームで問題になっているのは経営面であり、期待していたサービスが受けられないという状況が懸念されている。保険制度で支える仕組みが整いつつあるが、権利擁護の必要な高齢者への相談体制をつくることも必要ではないか。

(施策の大綱)

施策28	
1	・サブ施策 の取組例「区民・事業者・行政の協働によるまちづくり」に対応した指標がない。
施策29	
2	・ライフスタイルに対応した住まいについて、夫婦2人の高齢世帯から見ると、区内の住宅は、こどもを抱えた世帯向けの3LDK住宅がほとんどであり、ニーズに合った住宅がない。高齢化社会を踏まえたライフスタイル研究を進めてほしい。
3	・住みよい環境について、世代の多様性や、住宅・商業の割合に関連した指標もあるとよい。
施策30	
4	・バリアフリーのまちづくりについて、障害者だけでなく、認知症を受け入れることができるまちづくりも入れてほしい。
5	・指標 は、「一人で外出した際に不便を感じた割合」としたほうがよい。
施策31	
6	・道路については、江東区は都心に近いのでさまざまな施設が近くにあり、自転車を利用しやすい環境にある。自転車が走りやすいまちづくりを進めてほしい。
7	・江東区で自転車の利用を促進するのであれば、区内に駐輪場が増えていることを示す、駐輪場の利用台数や利用率を指標にするとよい。
8	・自転車道の整備は道路面積が狭いので現実的には難しいかもしれないが、道路面積に対する自転車道の面積率、公園面積の整備率を指標にするとよい。
施策32	
9	・東京都では、地震などの緊急時の優先業務を選定しており、素案を昨年11月に策定した。江東区での検討状況はどうなっているか？また、区役所の耐震性は十分か？
10	・指標 細街路拡幅整備延長に関連して、救急車が入ることのできない街路の延長を指標にしてもよいのではないか。
施策33	

11	・高層住宅の上層部では防災面での不安がより大きい。無線による通信確保も高層階では電波が届かないのではないか。
----	--

(計画の実現に向けて)

策定会議における主な意見	
(1) 区民の参画・協働と開かれた区政の実現	
1	・サブ施策 の取組みについて、「あらゆる団体の活動の支援」は現実的でない。
(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営	
2	・指標の職員の対応が悪いと思う区民の割合について、ポジティブな指標にしてはどうか。
3	・経費比率など、効率的なお金の使い方が出来ているかの指標はないか。
4	・契約に関する取組例を盛り込んでどうか。
(3) 自立的な区政基盤の確立	
5	・サブ施策 自律的な区政基盤の確立に関する指標を設定してはどうか。
6	・道州制や都区制度について、基礎自治体は区民の生活にとって重要である点を強調してはどうか。
7	・長期計画の構成について、「計画の実現に向けて」は分野別の後ろに持ってくるのがすわりが良いが、区民との協働に触れられているため、前段に持ってきてはどうか。